

総 括 事 項

1 名称・所在地

高知県水産試験場

(本 場) 高知県須崎市浦ノ内灰方1153-23

電話：088-856-1175 e-mail：040409@ken.pref.kochi.lg.jp

FAX：088-856-1177 HP：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/>

交通機関：JR高知駅(高知市)からとさでん交通バス宇佐行き乗車、終点宇佐から徒歩10分

(古満目分場) 高知県幡多郡大月町古満目330

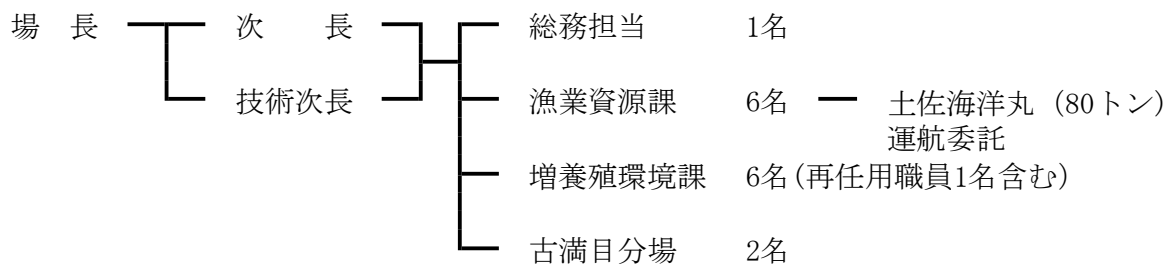
電話：0880-72-1072 FAX：0880-72-1073

交通機関：高知西南交通 古満目バス停で下車、徒歩5分

2 沿 革

1901(明治34)年	県庁内に設立
1902(明治35)年	須崎町(現須崎市)に新庁舎を建設し移転
1920(大正9)年	講習部新設
1926(昭和元)年	無線電信陸上局新設
1944(昭和19)年	講習部廃止
1946(昭和21)年	南海地震により庁舎一部破損、備品類大部分を流失
1954(昭和29)年	15号台風により庁舎全壊
1955(昭和30)年	庁舎新築
1968(昭和43)年	幡多郡大月町古満目に実験室設置
1971(昭和46)年 4月	須崎市浦ノ内灰方に庁舎新築移転
1971(昭和46)年 4月	大月町古満目に試験地設置
1971(昭和46)年 4月	大月町古満目に実験所設置
1978(昭和53)年 3月	無線局業務を須崎無線漁業協同組合へ移管
1983(昭和58)年 1月	海洋開発調査船「土佐丸」竣工
1983(昭和58)年 4月	栽培漁業センターの設置に伴い古満目実験所を廃止、大月町に貸与
1986(昭和61)年 3月	海洋漁業調査船「土佐海洋丸」竣工
1986(昭和61)年 7月	皇太子殿下啓
1991(平成3)年 2月	海洋漁業センター新築
1997(平成9)年 4月	機構改革により、5課(科)体制が4課(科)体制となる
1998(平成10)年 4月	機構改革により、産業技術委員会事務局へ移管
2003(平成15)年 12月	海洋開発調査船「土佐丸」廃船
2003(平成17)年 4月	機構改革により、課(科)体制が3課(部)体制となる
2003(平成17)年 9月	横浪林海研究交流センターの設置
2005(平成19)年 4月	機構改革により産業技術部に組織替え及び3課(部)体制が3課体制となる
2008(平成20)年 7月	海洋漁業調査船「土佐海洋丸」廃船
2008(平成20)年 9月	新海洋漁業調査船「土佐海洋丸」竣工
2009(平成21)年 4月	機構改革により、水産振興部に移管
2011(平成23)年 4月	機構改革により、3課体制が2課体制となる
2016(平成28)年 4月	大月町古満目に古満目分場設置
2023(令和5)年 3月	古満目分場廃止

3 令和4年度機構及び人員



4 令和4年度職員一覧

場長 岩崎 健吾
 次長 山下 修也
 技術次長 柳川 晋一

職名	職種	氏名	備考
主任（総括）	行政職	小松 和彦	
漁業資源課長	研究職	清水 重樹	
チーフ	研究職	林 芳弘	
主任研究員	研究職	宮澤 英将	
主任研究員	研究職	飯田 敦子	
研究員	研究職	松田 裕太	
研究員	研究職	有光 慎吾	
増養殖環境課長	研究職	梶 達也	
チーフ	研究職	山下 樹徹	
主任研究員	研究職	池部 慶太	
主任研究員	研究職	占部 敦史	
研究員	研究職	上村 海斗	
専門員	研究職	杉本 昌彦	
古満目分場長	研究職	荻田 淑彦	
主任研究員	研究職	山下 慶太郎	

5 令和4年度当初予算

(単位：千円)

課 題 名 ・ 事 業 名	予算額	(内 訳)	
		国庫負担	諸収入
水産試験場管理運営費	123,282		0
管理運営費・共通経費・施設整備費 (本場)	22,462		
管理運営費・施設整備費 (古満目分場)	10,722		
調査船運航事業費	90,098		
水産業試験研究費	71,584	6,668	32,566
地域レベルでの漁況海況情報の提供	4,193		1,004
資源評価調査委託事業	17,602		17,602
日本周辺高度回遊性魚類資源調査委託事業	5,912		5,912
浮魚礁モニタリング調査事業	130		
急潮に強い定置網漁業への転換に向けた現場潮流の解析	4,445	1,984	
養殖経営安定化に向けた複合養殖対象種の検討	2,545	837	
赤潮及び魚病の被害軽減に向けた監視体制強化	2,179	1,040	
高精度な漁況漁場予測手法の開発 (古満目分場)	14,298	1,529	8,048
養殖経営安定化に向けた複合養殖対象種の検討	963	462	
赤潮及び魚病の被害軽減に向けた監視体制強化	1,770	816	
技術支援事業費	2,020		
干潟及び藻場回復の取組に関する支援	1,045		
サメによる漁業被害対策に関する支援	975		
会計年度任用職員経費	15,527		
水産振興部から令達事業	4,394	1,737	705
赤潮等発生監視調査事業	214		
漁場環境改善推進事業	705		705
養殖衛生管理整備事業	3,475	1,737	
計	199,260	8,405	33,271

<参考> 水産試験場当初予算額の推移

年 度	金額 (千円)	前年比 (%)	年 度	金額 (千円)	前年比 (%)
1999 (平成11)	206,537	85.7	2011 (平成23)	177,210	148.0
2000 (平成12)	216,315	104.7	2012 (平成24)	165,789	93.6
2001 (平成13)	215,814	99.8	2013 (平成25)	190,066	114.6
2002 (平成14)	206,028	95.5	2014 (平成26)	155,751	81.9
2003 (平成15)	185,881	90.2	2015 (平成27)	159,503	102.4
2004 (平成16)	141,467	76.1	2016 (平成28)	173,101	108.5
2005 (平成17)	141,753	100.2	2017 (平成29)	192,738	111.3
2006 (平成18)	128,976	91.0	2018 (平成30)	185,347	96.2
2007 (平成19)	131,877	102.2	2019 (令和元)	178,075	96.1
2008 (平成20)	114,156	86.6	2020 (令和2)	173,601	97.5
2009 (平成21)	119,434	104.6	2021 (令和3)	259,970	149.8
2010 (平成22)	119,763	100.3	2022 (令和4)	199,260	76.6

6 令和4年度業務実績

(1) 学習会・研修会等

開催日	講 師	講演内容	会議・研修会等名称	開催場所	対象者	参加人数
5/26	山下 樹徹	赤潮発生時の餌止めがマダイに及ぼす影響	研究成果報告会(宿毛地域)	すくも湾漁協	養殖業者、漁協職員等	17名
5/26	占部 敦史	高知県西部海域における魚病発生状況	研究成果報告会(宿毛地域)	すくも湾漁協	養殖業者、漁協職員等	17名
5/26	山下 慶太郎	宿毛湾におけるコクロ赤潮の発生状況	研究成果報告会(宿毛地域)	すくも湾漁協	養殖業者、漁協職員等	17名
7/14	山下 樹徹	赤潮発生時の餌止めがマダイに及ぼす影響	大谷タイ部会	大谷漁協	養殖業者、飼料販売業者等	11名
9/27	梶 達也	浦ノ内湾の天皇州におけるアサリの生活史とその保護活動	浦ノ内中学校見学	海洋漁業センター	浦ノ内中学校1年生、教員	15名
11/19	梶 達也	1) プリをいつまでも美味しくいただくために 2) 魚を「いただきます」とはどういうことでしょうか	高知市民の大学	オーテピア	高知市民の大学受講者	約70名

(2) 研究会・シンポジウム等の開催

開催日	開催名称	開催場所	参加人数
9/28～29	令和4年度中央ブロック資源海洋調査研究会	高知共済会間 (Web同時開催)	145名うち Web参加70名

(3) 学会・研究会等での発表（口頭発表・ポスターセッション含む）

発表日	所属	発表者名	演題	学会・研究会等名称	開催場所
9/14	漁業資源課	松田 裕太	室戸岬東岸における紀南分枝流を起源とする急潮の予測	日本周辺海域における環境急変現象（急潮）のメカニズム解明および防災に関する研究集会	九州大学 筑紫キャンパス 応用力学研究所
9/28	漁業資源課	林 芳弘・田ノ本 明彦	高知県の定置網における漁獲物組成の変化	令和4年度中央ブロック資源海洋調査研究会	高知共済会間
9/28	増養殖環境課	梶 達也 （高知水試）・濱町 諒介・錨 昇吾・大河 俊之（室戸漁業指導所）	高知県室戸岬周辺の定置網漁場に来遊するブリにみられる近年の質的变化	令和4年度中央ブロック資源海洋調査研究会	高知共済会館
9/28	増養殖環境課	濱町 諒介・錨 昇吾（室戸漁業指導所）・ 梶 達也 （高知水試）・大河 俊之（室戸漁業指導所）	高知県東部海域におけるヒラソウダの漁獲動向と魚体脂肪率の推移	令和4年度中央ブロック資源海洋調査研究会	高知共済会館
3/28	増養殖環境課	占部 敦史・上村 海斗 （高知水試）・鬼塚剛・外丸 裕司（水産機構技術研）	赤潮発生、予測、対策の現状 2）瀬戸内海西部・豊後水道・土佐湾	令和5年度日本水産学会春季大会環境保全委員会シンポジウム「近年の日本沿岸における赤潮：発生の特徴と新たな対策を考える」	東京海洋大学 品川キャンパス
3/29	増養殖環境課	占部 敦史・上村 海斗 （高知水試）	マダイエドワジェラ症における早期投薬効果の検証	令和5年度日本水産学会春季大会	東京海洋大学 品川キャンパス
3/29	増養殖環境課	上村 海斗・占部 敦史 ・谷口 越則（高知水試）太田 耕平（九大院農）・竹内 久登・清水 園子（愛媛大南水研セ）	浦ノ内湾における <i>Karenia mikimotoi</i> および <i>Chattonella</i> spp.の赤潮発生状況とリアルタイム定量PCR法を用いた現場モニタリング	令和5年度日本水産学会春季大会	東京海洋大学 品川キャンパス

* 発表者複数名の場合、太字の氏名は当場所属職員

(4) 投稿論文・執筆等

所属	著者名	題名	投稿学会・書籍名等
増養殖環境課	梶 達也 （高知水試）・濱町 諒介・錨 昇吾・大河 俊之（室戸漁業指導所）	高知県室戸岬周辺の定置網漁場に来遊するブリにみられる近年の質的变化	黒潮の資源海洋研究第24号
増養殖環境課	濱町 諒介・錨 昇吾（室戸漁業指導所）・ 梶 達也 （高知水試）・大河 俊之（室戸漁業指導所）	高知県東部海域におけるヒラソウダの漁獲動向と魚体脂肪率の推移	黒潮の資源海洋研究第24号
漁業資源課	林 芳弘・田ノ本 明彦	高知県の定置網における漁獲物組成の変化	黒潮の資源海洋研究第24号

* 著者が複数名の場合、太字の氏名は当場所属職員

(5) 海洋漁業調査船 「土佐海洋丸」 運航実績

航海期間	調査項目	運航日数
4/1～4/9	・土佐湾、宿毛湾、足摺沖合、室戸沖合定線調査 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査 ・漁場一斉調査 ・黒牧13号点検	9
4/20～6/9	・回航（上架修繕）	2
6/9～6/15, 6/20, 6/27～6/30	・土佐湾、室戸東定線調査 ・キンメダイ漁場環境調査 ・大水深漁場調査	11
7/11～7/16	・土佐湾定線調査 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査	6
8/1～8/7	・土佐湾、室戸沖合定線 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査	7
9/13, 9/14, 9/20, 9/22～9/26	・土佐湾、室戸東定線調査 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査	8
10/3～10/8, 10/22, 10/28	・土佐湾、室戸東定線調査 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査 ・黒牧6号点検	8
11/8～11/19, 11/24～11/29	・土佐湾、宿毛湾、足摺沖合、室戸沖合定線調査 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査 ・大水深漁場調査 ・黒牧13号中層魚礁調査 ・黒牧9号中層魚礁調査	16
12/5～12/11	・土佐湾、宿毛湾、室戸東定線調査 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査	7
1/11～1/17	・土佐湾、宿毛湾、室戸東定線調査 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査	7
2/1～2/7, 2/11～2/12	・土佐湾、宿毛湾、室戸東定線調査 ・足摺沖二枚潮調査 ・キンメダイ漁場環境調査 ・黒牧13号、黒牧19号点検	9
2/13～3/16	・回航（上架修繕）	2
3/17～3/24	・土佐湾、宿毛湾、室戸沖合及び足摺沖合定線調査 ・キンメダイ漁場環境調査 ・漁場一斉調査	8
計		100

* 運航日数には、荒天等による港内での待機日を除く